

ながの環境パートナーシップ会議
平成22年度 第13回幹事会 会議記録

I 日 時 平成23年4月26日（火）18時から20時40分まで

II 場 所 会議室6（市役所第二庁舎4階）

III 出席幹事 7人 全員

弓場代表幹事、金井、高木、渡辺、安藤、中村、水野

IV 会議内容

□ 第13回 幹事会

協議事項

1 キャラクターデザイン投票結果について

今回の幹事会で受賞作品を決定する予定であったが、投票数が15票ということもあり、今回の決定を見送り、各チームに再度呼びかけを行う。

チームリーダーがそれぞれのチームのメンバーに再度投票を促し、取りまとめをしていただき、4月30日までに回答をもらうこととし、その投票結果をもって最終決定する。

2 平成23年度通常総会通知について

日時 6月4日（土）午後2時から午後4時（終了予定）まで

場所 サンパルテ山王 5階「穂高の間」

議事 22年度活動報告、収支決算

23年度活動計画、予算、会則改正等

※ 総会終了後、希望者のみで懇親会を予定（会費3,000円を当日受付に）
総会の出欠について4月20日（金）までにはがきを投函してもらう。

3 ウェザーステーション観測用パソコンについて

購入について承認した（平成22年度予算）。

4 中間監査の内容の見直しについて

P会議として協働の場を提供できるようにしたい。

次回の幹事会で総会に向けての方針を出すこととする。

5 平成23年度行動計画・目標・予算について

全体及び個別のプロジェクトについて審議した。

内容が漠然としているもの等については、再提出を求めることとする。

6 新入会員承認について

1人の新入会員を承認した。

7 その他（会則の改正について）

正会員と賛助会員の区別を規定する、会費の設定について幹事会に委ねる、電磁的記録（メール等）により幹事会の決議をできるような規定を設ける等の改正案の提案があった。

詳細はVI 主な意見・質疑等参照

V 今後の日程等

1 キャラクターデザイン会員投票

チームリーダーからの報告締切 4月30日(土)

2 第14回幹事会

(1) 日時・場所：5月18日(水) 18:00～ 会議室6 (市役所第二庁舎4階)

(2) 内容：総会について

第二次環境基本計画 計画の目標について

第四次総合計画の概要について

3 平成23年度通常総会

平成23年6月4日(土) 午後2時から 於 サンパルテ山王

VI 主な意見・質疑等

□ 第13回 幹事会

1 キャラクターデザイン投票結果について

→投票方法が分かりにくかった可能性がある。

→幹事は投票するべきだったのか？

→投票しないとの認識をしていた。

→総会の場での投票はどうか？

→総会で表彰式をする予定であり、パンフレットにも使いたいから無理。

→総会の出欠のハガキで投票してもらうのはどうか？

→電話で聞き取りするのが一番早いのでは。

→チームリーダーに聞き取りしてもらうのがいいのでは。

○チームリーダーに取りまとめてもらって提出してもらう。

○事務局がチームリーダー宛にメールをする。回答期限は4月30日とする。

→その場合決定はどのように行うのか？

○投票結果をもって最終結果とする。

2 平成23年度通常総会通知について

・総会の開催は会員の二分の一の出席が無いと成立しないことについて

→欠席の場合は出欠連絡のハガキで議決権の委任をお願いしたい。

3 ウェザーステーション観測用パソコンについて

→トイゴでの測定の際にパソコンがうまく使えなかった

→パソコンの貸与についてうまく話がまとまらなかった。

→規則(会則)に貸与についての規定がないので今後整理が必要。

→パソコンを設置すると不特定多数の人が使うので、貸与はあまりよくない。

→貸与期間中に故障したときにどうするのかという問題も出てくる。

→一般の人も触れる場所にある

・設置した場合、盗難対策について

→チェーンで固定するつもりである。

・パソコンがどうしても必要なものなのか。

→必要なものであると思われるので、承認する。

→新品を購入する予定である(22年度予算で対応する)。

4 中間監査の内容の見直しについて

→協働の場を提供するという本来の目的が薄れてきているように思う。

→ネットワーク作りが容易なことではない。

→そのためのプロジェクトチームを立ち上げることを検討したい。

→環境基本計画とアジェンダの関係の整合性を再検討すべき。

・パートナーシップ会議の事業計画について

→パートナーシップ会議自体のPDCAが必要。

→どのような形になっていけば協働の場が提供できたといえるのか。

- 協働についての方向性の検討が必要
- 例えばレジ袋の削減にもいろいろな側面がある。
- P会議でも具体的な行動をしていかなければならない。
 - ・協働の場の広げ方の工夫について
- P会議は男社会という印象がある。
- 女性が多ければ違った広がりを見せるはず。
- イベント等を利用するのもよいのではないか。
- 何か仕掛けをすることで協働を進めていくべき。
- チームが核となって広報を進めていく。
- 同じことをやっている市民がいるならそこに呼びかけをしていく。
- 例えば同じチームを別の場所につくり、そこから連携を図るべき。
- 市民への周知が足りない（チームがどんなことしているかわからない）

5 平成23年度行動計画・目標・予算について

- ・生態系豊かな、水に親しめる川作り（水環境チーム）について
- 写真展等を行うので増額となっている。
- 樹木用のネームプレートは安いものだと劣化が激しいので品質の良いものにする。
- 交通費の取扱いについて検討
- ・学校版環境マネジメントシステム導入プロジェクトについて
- 交通費の使途について確認する
- 活動事例集は何ページのものを何部作成する予定なのか。
- ・光害対策プロジェクトについて
- 有名な講師をお呼びするなら、大きい会場でのイベント開催を検討してもらう。
- ネットワークを広げることから、ライトダウンとのリンクも必要である。
- ・事業者の環境ISO認証取得支援プロジェクトについて
- 予算なしにつき意見なし。
- ・生ごみ削減・再生利用プロジェクトについて
- 県外視察を取りやめるなど再検討する。
- パンフレット等を作るときには（協賛）広告費を取れるように努力すべき。
- ・レジ袋削減プロジェクトについて
- レジ袋等の削減について数字等で分かりやすく表示するための新規事業があるので増額となっている。
- 看板設置についてはお店の協力が大変かと思われる。
- スーパー、小売店等の協力を求めていく。
- ・市民の森づくりプロジェクトについて
- 異議なし。
- ・太陽エネルギー普及促進プロジェクトについて
- 内容をもっと具体的に書いて再提出してもらう。
- 次回の幹事会での審議では間に合わないので、メールで審議する。
- ほかのものについても、再提出（再確認）のものはメールで審議する。
- ・スキー場跡地の自然復元プロジェクトについて
- 去年ドングリをねずみに食べられた経緯から、ねずみ防護ネットを計上する。
- 指導者謝礼についてもっと具体的に教えてもらう。
- 培養土の購入量が分かりにくい。
- ・子どもの環境学習支援プロジェクトについて
- エコクラブについては事業仕分けで環境省の支援が無くなった。
- 別の企業からの補助はある。
- 具体的にどのようなことをするつもりか分からない。
- 子どもエコクラブとの連携はいいことだが、ここで何をしたいか分からない。
- ・ウェザーステーションプロジェクトについて
- 異議なし。
- ・ながのカーボンオフセットプロジェクトについて
- 異議なし。
- ・ながの環境パートナーシップ会議全体について

- 東日本大震災を受けて活動計画を変更するところはないか。
- 具体的には今のところわからないが何かしらできることがあるのではないか。
- 環境活動の推進ということでメッセージを会員に発信していく。
- 総会後に震災を受けての環境問題についてのフォーラムを行うことを検討してみる。

6 新入会員承認について

- 市民の森プロジェクトに入りたいという申込があった。
- 異議無く入会を認める。

7 その他（会則の改正について）

- ・賛助会員制度を設けることについて
 - 賛助会員には議決権がない。
 - 正会員でも個人会員と賛助会員があるということを記載しなくてよいのか。
 - 一般社団法人も同様を参考にしているが記載が無い。
 - パンフレット等にその旨記載することで周知する。
- ・幹事会の決議を電磁的方法（メール等）で行えるように規定することについて
 - メールができないときなどは、書面でもできる。
 - 会議を開催するときは過半数で決議、電磁的な手段は全員一致で決議となっている
- ・会則を改めることなく、会費の変更ができるようにすることについて
 - 値上げのための改正ではない。
- ・46条と47条の内容が重複していることについて
 - 解散のときの話と清算のときの話が規定されている。
 - 解散して清算するものであるから、どちらかが不要だと思われる。
 - 47条を削除する。